学校番号	２０５

令和８年度　地理歴史科

教科	地歴	科目	世界史探究	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	「詳説世界史」　（山川出版社）						
副教材等	最新世界史図説「タペストリー」（帝国書院）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・歴史的事象の原因と結果のつながりを意識する視点を持つ。
・歴史総合の学習によって身に着けた資質・能力を基に、世界の歴史の展開にかかわる諸事象について、地理的条件ならびに地域や国のそれぞれの個性や風潮や慣習、そして文化と関連付けながら総合的に捉えて理解する。
・事象の意味やそれぞれの地域や国の個性・文化の特色を考察し、よりよい社会の実現に向けて、歴史的経緯を踏まえて、現代の国際関係や国家間の課題を古代史から学ぶことで探究する。
・何故そうなったのか、原因と結果などの「過去」を知ることで、歴史の「流れ」と今を理解してください。
・授業で扱うその時代を「流れ」の中で理解し、そして、これからどうなっていきそうかという「未来」を推測してください。
・毎時間の授業を集中して受け、また家庭でしっかり復習し、充実したノートをつくること。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
諸資料を適切かつ効果的に調べまとめる技能や，概念的な理解に基づく知識を身につける。
諸資料に親しみ、地形や地政学の観点といった地理的要因からも歴史を考え、課題を追究したり解決したりする活動ができる。
【思考力、判断力、表現力等】
世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について，概念などを活用して，多面的・多角的に考察したり，歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や，考察し，構想したことを効果的に説明したり，表現したりする力を身につける。
【学びに向かう力、人間性等】
世界の歴史を地理的条件やそれぞれの地域やくにの個性や文化と関連付けながら理解し、現在の世界の有りようを意識し主体的に行動できる人材としての自覚と資質を身につける。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	知識：歴史の変化に関わる諸事象について、各地域の交流などを広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わっていく各地域の個性や特徴を理解する。 技能：諸史料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	歴史の変化に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用し多面的・多角的に考察する。また歴史に見られる課題を把握し、解決を視野に入れながら構想し、それを効果的に説明したり、それらを基に議論したりできる。	「各地域の個性や特徴」「歴史の変化に関わる諸事象」についての知識・技能の獲得や、思考力・判断力・表現力を身に付けることに向けて、主体的に取り組もうとする姿勢を養う。 また、その取り組みの中で、自らの学習を調整し、より多面的・多角的に捉えようとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	先史の世界・オリエントと地中海世界・アジア・アメリカの古代文明	・先史の世界 ・古代オリエント世界 ・ギリシア世界 ・アジアの古代文明 ・東アジア世界の形成	a:「一つの世界」が生まれる以前、人類はどのような世界に生きていたのだろうか。農耕、牧畜が始まって以来、人類は環境に適応しながらそれぞれの地域で独自の世界を形成したことを考え学習する。 b:地中海周辺地域の古代文明について考える。また中国の殷、周、秦、漢時代を通じて２０世紀まで続く皇帝政治体制の基礎が固まったことを探究する。 c:ギリシア文明はポリスという独特の社会の仕組みからうまれ、奴隷制を経済基盤として古代民主政が発達したことの重大性を考察させる。	定期考査・ノートやプリント	定期考査・ノートやプリント・プレゼンテーション・授業シート	活動の様子の観察・プレゼンテーション・授業シート
2学期	オリエントと地中海世界・ヨーロッパ世界の形成と発展・アジア・アメリカの古代文明・内陸アジア世界・東アジア	・ローマ世界 ・西ヨーロッパ世界の成立 ・内陸アジア世界、東アジア世界の形成 ・インドの古代文明	a 古代ローマが都市国家から帝国に発展する過程をダイナミックにとらえ、なぜ偉大なローマ帝国が滅ばざるをえなかったのかを学習する。 また、ゲルマン民族の移動から始まる西ヨーロッパ世界の成立、荘園制・封建制を理解し、その知識を身につけている。 b:設定された時代の諸地域の特質を見いだし、世界商業の進展などに関連付けて多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 c:北方民族と中国の関係に重点を置き中国の分裂(魏晋南北朝時代)から隋・唐に至る統一を理解させる。また、南アジアでの、今日のインドの骨格をなす宗教・社会・世界観の構成を考察させる。	定期考査・ノートやプリント	定期考査・ノートやプリント・プレゼンテーション・授業シート	活動の様子の観察・プレゼンテーション・授業シート

3学期	ヨーロッパ世界の形成と発展・イスラーム世界の形成と発展	・西ヨーロッパ世界 中世世界の変容 ・西ヨーロッパの 中世文化 ・イスラーム世界の 形成と発展 ・インド、東南アジア、 アフリカのイスラー ム化	a:中世ヨーロッパの十字軍とその影響、商業の発展と都市の成立、封建社会の崩壊について関心を持ち意欲的に学習する。 b:７世紀から１６世紀にいたるイスラーム世界の展開をたどる。7世紀から約1世紀の間に中央アジアからイベリア半島にいたる大帝国を築き、１１世紀以降は北アフリカやインドでもイスラーム化がすすみ１３世紀以降には東南アジアにも浸透したことを考察する。 c:設定された時代に関する諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表にまとめたりして探究する。	定期考査・ノートやプリント	定期考査・ノートやプリント・プレゼンテーション・授業シート	活動の様子の観察・プレゼンテーション・授業シート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度